



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久(APIR 研究統括)

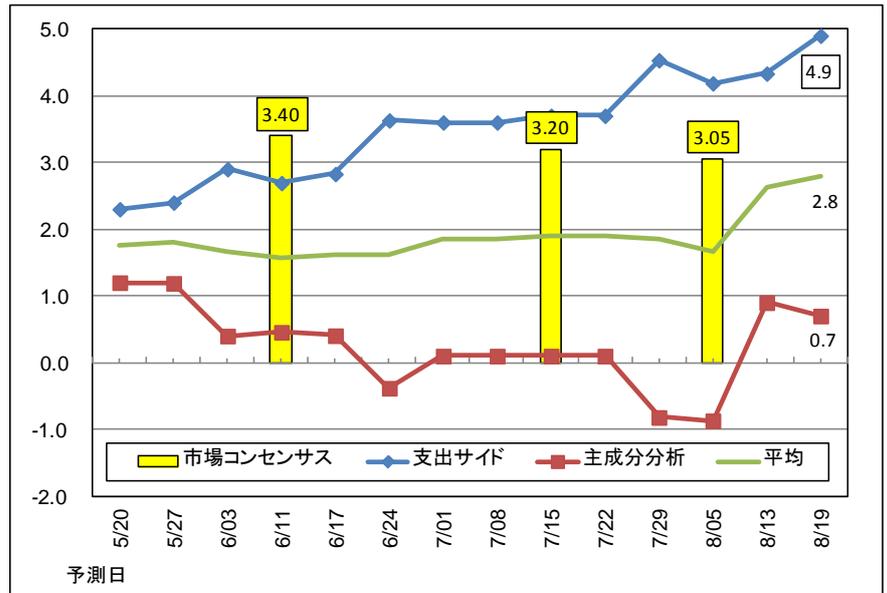
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail:inada-y@apir.or.jp

# 日本経済(週次)予測(2013年8月19日)

## ポイント

- ▶今週の予測では 7 月の公共工事請負金額、6 月の毎月勤労統計(確報)、民間機械受注及び建設総合統計を更新している。
- ▶6 月の公共工事は前月比+5.7%増加し 2 ヶ月連続のプラス。4-6 月期は前期比+1.1%増と 4 期連続の増加。先行指標の公共工事請負金額は 7 月に前月比+6.8%と 2 ヶ月ぶりのプラスとなった。7-9 月期も補正予算が契機に貢献する。
- ▶6 月の民間コア機械受注は前月比-2.7%減少し 2 ヶ月ぶりのマイナス。結果、4-6 月期は前期比+6.8%と 5 期ぶりのプラスとなったが、予測調査では 7-9 月期は再び減少となっている。各種調査の設備投資計画は強いが設備投資につながるかは疑問。
- ▶今週の超短期モデル(支出サイド)は、7-9 月期の実質 GDP 成長率を前期年率+4.9%と予測。内需(企業設備を除く)と純輸出が経済を牽引している。依然低調だが企業設備が点火すると本格的な景気回復となる。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2013 年 7-9 月期 (%、前期比年率換算)



### <7-9 月期日本経済：依然低調な企業設備が点火すると本格的な景気回復に繋がる>

今週の予測では、GDP1 次速報値発表後に公表された 7 月の公共工事請負金額、6 月の毎月勤労統計(確報)、民間機械受注及び建設総合統計を更新している。これらのデータは民間企業設備、公的固定資本形成及び雇用者報酬の予測値に影響を及ぼす。

6 月の公共工事は前年比+19.3%大幅増加した。伸びは 17 ヶ月連続のプラスで、3 ヶ月連続で加速している。季節調整値(筆者推計)も前月比+5.7%増加し 2 ヶ月連続のプラス。結果、4-6 月期は前期比+1.1%増と 4 期連続の増加。先行指標である公共工事請負金額は 7 月に前年比 29.4%増加し 4 ヶ月連続のプラス。季節調整値(筆者推計)も前月比+6.8%と 2 ヶ月ぶりのプラス。7 月値は 4-6 月期平均比+2.6%増加しており、補正予算効果が引き続き出ている。

6 月の民間コア機械受注は前月比-2.7%減少した。2 ヶ月ぶりのマイナス。結果、4-6 月期は前期比+6.8%と 5 期ぶりのプラスとなった。4 月調査時の 4-6 月期見通しは前期比-1.5%であったから、上振れた結果となった。なお、今回の予測調査では 7-9 月期は前期比-5.3%となっており、再び減少となっている。各種調査の設備投資計画は強い数字が出ているが、実際に設備投資につながるかは疑問である。7 月の投資関連データに注目したい。

今週の超短期モデル(支出サイド)は、7-9 月期の実質 GDP 成長率を前期年率+4.9%と予測。先週の予測(+4.3%)から上方修正である。同期は内需(企業設備を除く)と純輸出が経済を牽引している。依然低調だが企業設備が点火すると本格的な景気回復に繋がる。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。  
 ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。  
 ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6485-7690